

AR1010 RF Power Monitor

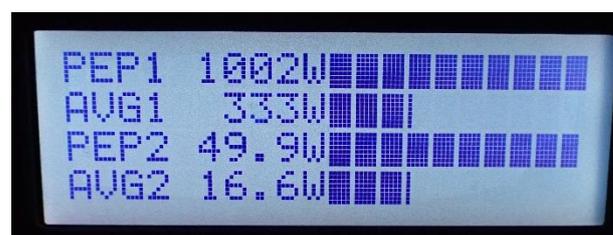
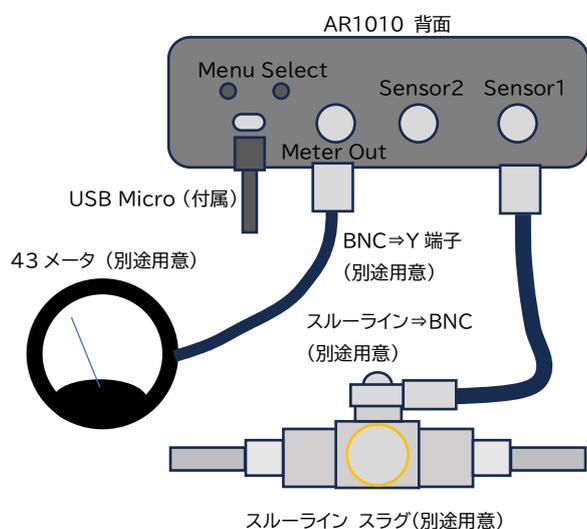


希望小売価格 ¥40,000 (税別)

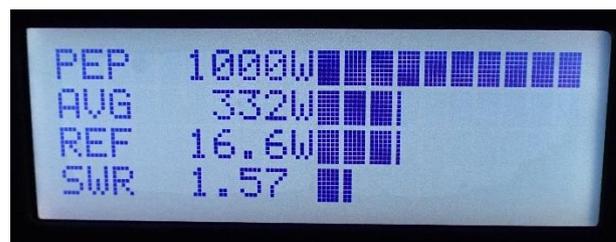
Bird のパワーメーター 43、またはスルーラインと接続して電力をモニタします。

別途、パワーメーター 43、またはスルーライン、および対応するエレメント (スラグ)、接続ケーブルが必要になります。

接続



2 系統のパワー表示



SWR 表示

PEP とアベレージを同時表示

高速サンプリングを行い、PEP とアベレージを数字とバーグラフで同時に表示できます。

2 系統の電力モニタ、または SWR の表示

スルーラインからの入力 は 2 系統あります。2 つの別々の送信ラインの電力を同時に計測する他、進行波と反射波を検出するように接続すれば、Bird の 43 を使って SWR の測定をすることも可能です。

(反射波はアベレージのみの表示となります)

43 のメーターを振らせるメーター出力

LCD 表示だけではなく、43 のアナログメーターを振らせることもできます。

メーター出力に 43 のメーターを繋ぐと選択した項目に合わせてメーターが振れます。

メーター出力は 2 系統それぞれの PEP、アベレージの中から選択できます。

Biard 43P のように、従来のアナログメーターにて PEP でのパワーモニタが出来ます。

(アナログメーターは繋がなくても使用できます)

スラグのレンジの拡大にも対応

スラグのレンジとは別に表示上のレンジを設定できます。

例えばスラグは 100 を使いつつ表示上のレンジは 50 とすると、50W をフルスケールとしてバーグラフが表示されます。

またメーター出力もグラフのスケールに連動し、50W フルスケールとしてメーターを振らせます。

さらにスラグのレンジよりも小さい電力を拡大するだけで無く、スラグのレンジの 3 倍の電力まで測定が可能です。例えば 100 のスラグでもメーターのフルスケールは 250 に設定し、数値上は 300W までの電力の測定ができます。

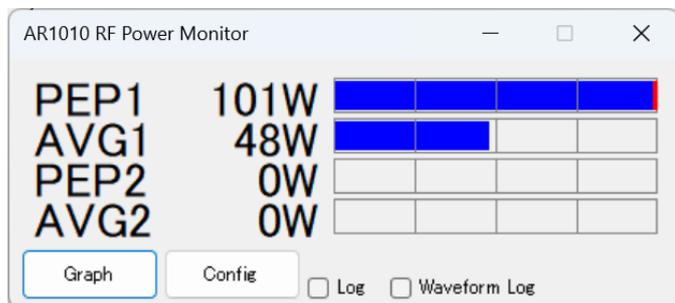
電力に合わせてたくさんのスラグを用意する必要が無く、大変経済的です。

(スケールオーバーでの使用はスラグの故障や特性変化の可能性があります。スケールオーバーでの使用は一時的なものとしてご使用下さい。)

PC からのモニタ、波形表示

PC の USB ポートに接続することで、専用アプリケーションから電力モニタが出来ます。

リモートステーション等で遠隔で PC を制御して使用する場合などにも便利です。



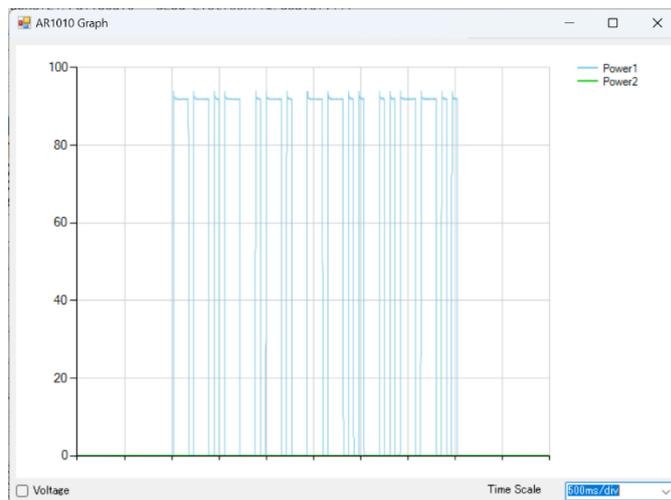
PC でのモニタ画面

また PC からは通常の電力表示の他に高速サンプリング波形のモニタリングも可能です。

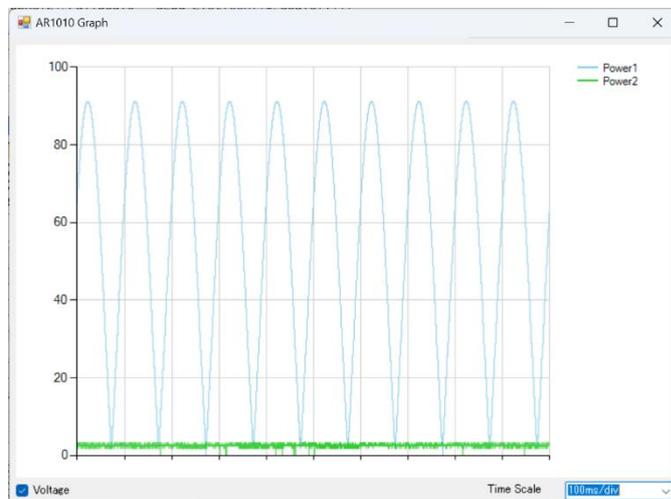
SSB の送信波形もモニタリングできますので、変調やアンプのドライブ電力の調整にも最適です。縦軸を電力表示の他に電圧換算表示もできますので、オシロスコープでエンベロープ波形を確認する時と同じ感覚でモニタできます。

さらに電力値、波形データは CSV ファイルとしてログの保存も可能。自局がいつ、何ワットで送信を行ったのか記録を残すことができます。

またアンプの調整時などに、出力の 2 トーン波形を CSV にて保存することができます。



CW での電力モニタ



SSB での 2 トーン (電圧換算表示)

仕様

寸法 123×48×38mm (W×H×D)

電源 USB Micro

PC にてモニタ時は PC と接続

PC 不使用时は電源供給可能な USB に接続 (リグの USB ポート等でも可)

入力 Bird43 シリーズ スルーライン 2 系統

出力 Bird43 用 30uA フルスケール出力 1 系統